



デザインと機能の両立を叶える ウレタン塗膜防水材をラインナップ

シーカ・ジャパン株式会社は、スイスに本社を置く建設化学製品メーカー Sika の日本法人 日本シーカ株式会社として、1955 (昭和30) 年に設立しました。2023 年にはグループ会社 5 社を統合してシーカ・ジャパン株式会社に社名を変更。建築関連資材を扱うコンストラクション事業をはじめ、コンクリート、シビルエンジニアリング、オートモーティブ&インダストリーの4つの事業を柱に展開しています。近年、建設資材分野で力を入れている「超速硬化ウレタンスプレー防水」のお話を中心に、シーカ・ジャパンの歴史や取り組みについてうかがいました。

建設資材の事業拡大を続ける

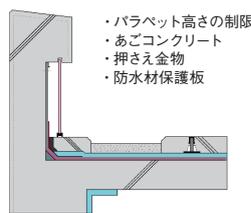
シーカ
Sika は 1910 年にスイスでモルタルの止水材を製造・販売する会社として創業しました。初めて Sika の製品が日本に輸入されたのが 1927 年。1955 年には日本シーカが設立され、本格的に日本での販売を開始し、当社は 2025 年に創立 70 年を迎えました。

2010 年以降には、取り扱い製品の充実と事業拡大のため M&A を推進しています。ヘンケルジャパンのシーリング事業部を承継、防水材メーカーのダイフレックス、横浜ゴムの建築シーリング材部門のハマタイト事業をグループ傘下とし、2023 年には日本シーカ、ダイフレックス、ディックブルーフィング、シーカ・ハマタイト、シーカ・ハマタイト販売を統合してシーカ・ジャパンに社名を変更しました。さらに、2023 年にはコンクリート用の化学混和剤で世界シェアを持つポゾリスソリューションズも加わり、事業強化を進めています。

ワンストップ・ソリューション・サプライヤーを目指す

Sika は世界 100 ヶ国以上に拠点を持ち、取り扱う製品も多岐にわたっています。建築関連では、コンクリート用の化学混和剤から地下防水材、屋上防水材、防食材、仕上材、塗り床材、外装材、シーリング材や、屋上緑化等のソリューションなどを取り扱い、建物全体に対する資材の提案から供給まで 1 社でできるようになりました。この

●超速硬化ウレタン複合防水工法の特徴



(在来工法)

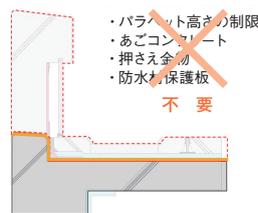
強みを活かして、お客様のニーズに応えるワンストップ・ソリューション・サプライヤーを目指しています。

また、日本の建設市場にはデータセンターや半導体工場、風力発電など時代ごとのトレンドがありますが、いろいろな分野の専門家が集まっている当社だからこそ、それぞれにフォーカスし、必要なソリューションをきちんと届ける事業を展開しています。

超速硬化ウレタンスプレー防水

超速硬化ウレタン防水工法「クイックスプレー」は、近年採用実績を伸ばしている注力商品です。超速硬化ウレタンは、高強度のウレタン塗膜防水材を使用することで露出仕様での通常歩行を可能とし、保護コンクリートの削減が可能になります。パラペット納まりの簡素化による建物高さ制限への対応、耐根シート不要の屋上緑化やウッドデッキ設置等、デザイン性にも

納まりの簡素化、デザイン性向上、コンクリート使用量の削減



(超速硬化ウレタン複合防水工法)



優れます。また速硬化性に優れ、施工後 10 数秒で指触乾燥し約 30 分で歩行可能となり工期短縮も可能で、専用機械による施工は品質管理を容易とします。ロボットによる吹付け施工も可能で、デザイン性・施工性・高耐久性を実現する防水材です。

ウレタン塗膜防水は今までは改修工事に使われることが多かったのですが、近年は新築の面積の屋根や重要建築物の屋根などにも採用されています。

当社はその他にも、多種多様な防水材・工法をご用意しており、異種材を組み合わせた工法ができるのも当社の強みです。ぜひご相談ください。



施工例 東急プラザ原宿「ハラカド」の屋上



シーカ・ジャパン株式会社

<https://jpn.sika.com/>

各種土木・建築・工業用化学製品の製造・販売と研究開発を行う。建築分野では防水材、シーリング材、コンクリート混和剤などを扱う。

(本社) 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F TEL: 03-6433-2101 FAX: 03-6433-2102

■建築分野の事業は、全国にオフィス12拠点、生産拠点7カ所、さらに4カ所のグローバルおよびローカルテクノロジーセンター、トレーニングセンターを構え、地域に密着したサービスを展開。